

2026 年度 哲学若手研究者フォーラム研究集会

総会資料

日時 2026 年 10 月 10 日(土)14 時 50 分～

場所 学習院大学 目白キャンパス 北 1 号館 201 号室

作成者 榊原清玄(総務)

総会次第

1. 開会

2. 議事

- (ア)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 運営報告
- (イ)運営委員の勤務時間に関する報告
- (ウ)研究集会会場の変更と参加費の無料化
- (エ)遠方からの参加者への旅費支援について
- (オ)懇親会の開催について
- (カ)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告
- (キ)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査報告
- (ク)academist でのクラウドファンディングについて
- (ケ)ご寄付のお願い
- (コ)財政状況と今後の課題
- (サ)メーリングリストでの告知依頼の受付について
- (シ)ポスター発表の実施について
- (ス)運営委員の交代について
- (セ)2027 年度研究集会の開催日・開催場所について

3. 退任・新任運営委員の挨拶

4. 閉会

(ア)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 運営報告

1. 運営委員会の開催

回	日付	主な議題
第 0 回	2025 年 11 月 12 日	新年度の担当決め、課題の棚卸し
第 1 回	2025 年 12 月 10 日	テーマレクチャー候補の検討、2025 年度アンケートの検討
第 2 回	2026 年 2 月 4 日	会場・日程の検討、テーマレクチャー候補の検討
第 3 回	2026 年 3 月 13 日	テーマレクチャー候補と紹介文の担当決め、他学会の日程確認
第 4 回	2026 年 4 月 22 日	テーマレクチャー投票の準備、会場・日程の確定、メーリス配信の方針
第 5 回	2026 年 5 月 26 日	テーマ「愛の哲学」の決定とレクチャラーの選定、発表募集の準備
第 6 回	2026 年 6 月 30 日	レクチャラーの決定、発表募集の開始、今後の作業日程の確認
第 7 回	2026 年 8 月 4 日	発表応募結果の確認、タイムテーブル・各種資料の作成分担、Peatix の設定
第 8 回	2026 年 9 月 10 日	メーリスでの告知方針、寄付用口座、『哲学の探求』の校正方針

回	日付	主な議題
第 9 回	2026 年 9 月 30 日	研究集会当日の運営の最終確認

より詳細な内容については、HP の[議事録のページ](#)をご覧くださいか、ご要望があれば開示いたします。なお、次期運営委員の選出業務にあたり、議事録のうちには現運営委員や次期運営委員(候補)のジェンダーに関わる記述が含まれますが、その部分は個人情報となるため開示することはできません。ご了承ください。

2. 会議の形式

本年度は、原則として月 1 回程度のオンライン会議を開催し、最大 1 時間で終了するようにいたしました。会議で扱いきれなかった議題については、Discord 上で討議・決定いたしました。

3. 会場の確保

本年度は、学習院大学のご厚意により、目白キャンパス北 1 号館の教室を無償でお借りすることができました。会場のご手配にご尽力くださった学習院大学の小島和男先生をはじめ、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。これに伴い、例年使用してきた国立オリンピック記念青少年総合センターの予約は取り消しました。

4. 『哲学の探求』第 53 号の刊行

2026 年 3 月に『哲学の探求』第 53 号を刊行し、HP での公開および J-STAGE への登録を行いました。

5. 2026 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会の開催

2026 年 10 月 10 日(土)・11 日(日)に、学習院大学目白キャンパスにて研究集会を開催しております。本年度は、個人・共同研究発表、ワークショップ、ポスター発表をあわせて 115 件のご応募をいただきました。応募数が会場の発表枠を上回ったため、一部の方には口頭発表からポスター発表への変更をお願いいたしました。ご協力に感謝申し上げます。

テーマレクチャーは、会員アンケートの結果を踏まえて「愛の哲学」とし、源河亨先生と松田和樹先生にご登壇いただきました。

(イ)運営委員の勤務時間に関する報告

1. 勤怠システムの運用

運営委員の勤務実態を把握し、運営委員の労働に対して適切な謝礼が支払われているか否かを確認するため、2023 年度より Google フォームを通じた勤怠システムを運用しております。この勤怠システムは、担当間の業務量・時間の格差をなるべく少なくし、場合によっては業務の再配分等を行うためのものでもあります。

2. 運営委員の勤務時間等

2026 年度(期間:2025 年 11 月の引き継ぎ～2026 年 10 月 9 日)における各運営委員の勤務時間を、以下に報告いたします。

担当	勤務時間
総務	約 150 時間
会計	19 時間 30 分
施設	9 時間 53 分
テーマレクチャー	21 時間 23 分
HP・X	18 時間 34 分
通信	25 時間 40 分
『探求』編集(1 年目)	22 時間 49 分
『探求』編集(2 年目)	24 時間 10 分
庶務	23 時間 58 分

なお、上の表に大会前日準備、当日運営の勤務時間は含まれておりません。また、今後引き継ぎ業務等で各々の勤務時間はさらに増える見込みです。

(ウ)研究集会会場の変更と参加費の無料化

昨年度の総会でご報告したとおり、国立オリンピック記念青少年総合センターの利用料の値上げを受けて、会場の変更を検討してまいりました。その結果、本年度は学習院大学で開催することとなりました。

学習院大学の会場規定により、本年度は参加費を徴収せず、どなたでも無料でご参加いただける形といたしました。Peatix は、参加登録とご寄付の受付のために利用しております。

(エ)遠方からの参加者への旅費支援について

昨年度まで、関東以外から参加される方には、参加費の返金という形で旅費の支援を行ってまいりました。本年度は参加費自体を無料としたため、遠方からの参加者への旅費支援は実施しないことといたしました。

本年度のメーリングリストでのご案内や academist の活動報告では、ご寄付の使い道の一つとして遠方からの参加者への支援を挙げておりました。上記の方針を変更することとなりましたので、ここにご報告申し上げます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(オ)懇親会の開催について

対面開催の再開以降、一部の方のご厚意で開催していただいていた懇親会を、本年度より運営委員主導のもと正式に開催いたします(本日 10 月 10 日(土)19 時～、HUB 池袋東口店 ANNEX、会費 4,200 円)。

会計報告では、懇親会の参加費を収入に、開催費を支出に計上しております。懇親会について若哲が負担するのはテーマレクチャーの先生方 2 名分の会費のみであり、これは参加者の皆様からのカンパにより相殺される見込みです。

(カ)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告

会計担当が会計報告を行います。別資料「2026 年度哲学若手研究者フォーラム会計報告書」をご覧ください。なお、2026 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会に関わる会計は、2026 年 10 月現在において未払いである分を含むため、確定後の報告書を後日あらためて HP に掲載いたします。

また、テーマレクチャーの源河亨先生より、謝礼相当額をフォーラムへご寄付いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(キ)2026 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査報告

2026 年度哲学若手研究者フォーラム会計報告につきまして、2026 年 10 月 6 日 20 時より、報告書、帳簿、通帳、領収書を監査したところ、適正に処理されていることを認めました。

2026 年 10 月 6 日
会計監査 榎原清玄

(ク)academist でのクラウドファンディングについて

設備費の高騰や、運営委員およびテーマレクチャーへの謝礼に充てる予算を確保するため、2025 年 12 月より、学術系クラウドファンディングサイト「academist」にて月額制のご支援の受付を開始いたしました。2026 年 10 月までに、academist より計 267,660 円の入金ありがとうございました。ご支援くださっているサポーターの皆様に、心より御礼申し上げます。

(ケ)ご寄付のお願い

哲学若手研究者フォーラムの運営は、皆様からのご寄付に支えられております。Peatix の寄付チケット、HP に掲載している口座へのお振込み、academist での月額制のご支援により、ご寄付を受け付けております。フォーラムの存続のため、今後も継続的なご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、なりすまし防止のため、フォーラムから口座番号をメールでお知らせすることはございません。

お振込みの際は、必ず HP の記載をご確認ください。

(コ)財政状況と今後の課題

本年度は会場費が不要となった一方で、参加費収入がなくなったことなどから、収支は赤字となる見込みです(前年度繰越金 934,119 円に対し、次年度繰越金は 686,876 円の見込み)。昨年度も収支は赤字であり、フォーラムを持続的に運営していくうえでの課題となっております。来年度に向けて、収入の確保と支出のあり方について、運営委員会で検討してまいります。

(サ)メーリングリストでの告知依頼の受付について

本フォーラムのメーリングリストでは、研究会・イベントや公募の情報について、外部の方から告知のご依頼をいただくことが増えてまいりました。そこで本年度より、告知のご依頼を Google フォームで受け付けることといたしました。いただいたご依頼は、若手研究者にとって有益な情報であるか(イベント告知が中心であるか)を運営委員会で確認したうえで、配信いたします。フォームは HP に掲載しております。

(シ)ポスター発表の実施について

昨年度より設けたポスター発表は、本年度で 2 年目となりました。昨年度のアンケートでいただいた「コアタイムと閲覧時間を分けてほしい」とのご意見を踏まえ、本年度は 3 室・三部構成とし、各部にコアタイムと閲覧専用時間を設けました。今後もアンケート等のご意見を踏まえ、仔細を調整しつつ実施していく予定です。

(ス)運営委員の交代について

運営委員の任期は原則として 2 年であり、毎年、2 年目の運営委員が退任し、新たな運営委員が就任いたします。なお、新任委員の担当は、次年度の第 0 回運営委員会で決定いたします。

退任する運営委員(五十音順)	新たに就任する運営委員
梅原温史	大須賀良亮(千葉大学)
昆佐央理	押見まり(北海道大学)
榊原清玄	鷲田樹音(東京大学)
下山千遥	辻悠璃(京都大学)
平石千智	小川鼓々(学習院大学)
丸山望実	武田和真(九州大学)

(セ)2027 年度研究集会の開催日・開催場所について

来年度の研究集会も、秋ごろの開催を予定しております。開催日と会場は、他の学会の日程との重複を避けるよう調整のうえ、運営委員会で決定いたします。正式に決定しましたら、HP および SNS 等で周知いたします。